2021年度　事 業 報 告 書

特定非営利活動法人　ひらかた環境ネットワーク会議

Ⅰ事業実施概要

昨年出されたIPCC第6次評価報告で「地球温暖化がおきていることだけでなく、地球温暖化が人間の影響で起きていることは疑う余地がない」との報告がなされ、また11月に開催されたCOP26では、1.5℃目標に向かって世界が努力することが正式に合意されるなど、脱炭素化社会の実現が急務であるとの認識が強化された一年でした。

そんな中、しばらく休部状態となっていた自然エネルギー部会に新たなメンバーも加わり、活動が本格的に再開しました。また環境教育部会は、コロナの影響で出前授業の依頼が減少するという状況にありながらも、熱心な活動を続け、環境出前授業を１４回実施することができました。一方公共交通部会も、コロナ禍にあって一堂に会してといった以前のように形態での「バス！のってスタンプラリー」は、できませんでしたが、開催形態を変更して実施し、コロナ以前と同様に非常に多くの方に参加いただけました。公共交通利用促進が大切なこの時期、とても有意義な活動となりました。温暖化対策推進事業の中心である「我が家のエコノート」も７年目を迎えましたが熱心な参加者が多く７年継続の方が39名となりました。情報コーナーは、子供の利用者が減少しましたが、子供用品リユースコーナーの利用は好調で2060点がリユースされ、ごみ減量や意識啓発に貢献できました。

長引くコロナ禍で、くらわんか塾やエコフォーラムが急遽一部中止や延期になったり、事務所が一時閉鎖となったりといろいろ混乱もありましたが、皆様のご協力のもと活動を続けることができました。

Ⅱ事業の実施に関する事項

【１】特定非営利活動に係る事業

１　地球温暖化対策事業

昨年に引き続き地球温暖化対策事業として、下の４事業に取り組んだ。

【対 象 者】市民、事業者、行政

【予　　算】570,000円（収入実績：協賛金200,000円）

【支　　出】581,246円

【協　　賛】株式会社コマツ、京都信用金庫枚方支店、株式会社ホワイトマックス、
大阪ガス株式会社、恩地食品株式会社、関西リサイクルシステムズ株式会社、
農園 杉・五兵衛、呼人堂、株式会社たまゆら、枚方自動車教習所、
生活協働組合おおさかパルコープ、北村みそ本家

(1)　温暖化対策推進チームミーティング開催事業

月に一回、市民、行政、事業者の有志が集まり、地球温暖化対策について取り組み、事業について検討や検証を行った。

＜枚方市地球温暖化対策事業推進チーム会議＞

回	日　程	時　間	場　所
第　1回	2021年　4月12日（月）	10:00～11:40	環境保全研修室
第　2回	2021年　5月17日（月）	10:00～11:40	環境保全研修室
第　3回	2021年　6月11日（金）	10:00～11:40	環境保全研修室

第　4 回	2021 年　7 月 12 日（月）	10:00～11:40	環境保全研修室
第　5 回	2021 年　8 月 23 日（月）	10:00～11:30	環境保全研修室
第　6 回	2021 年　9 月 29 日（水）	10:00～11:30	環境保全研修室
第　7 回	2021 年 10 月 18 日（月）	10:00～11:30	環境保全研修室
第　8 回	2021 年 11 月 16 日（月）	10:00～11:20	環境保全研修室
第　9 回	2021 年 12 月 16 日（月）	10:00～11:40	環境保全研修室
第　10 回	2022 年　1 月 17 日（月）	10:00～11:40	環境保全研修室
第　11 回	2022 年　2 月 14 日（月）	10:00～11:40	環境保全研修室
第　12 回	2022 年　3 月 15 日（火）	10:00～11:40	環境保全研修室

(2)「我が家のエコノート」普及事業

事業開始から 7 年を経過した。前年度のアンケートおよび 6 年間のデータをもとに、エコノートの啓発に使える“取り組み報告リーフレット”を作成した。これによると、参加者の約半数は 60 才以上の方であった。しかし、今年、広報を見て 30 代の男性が新規参加、枚方子育て通信 HARU を見て新規参加１名と、今年度新規参加者４名のうち 3 名が 30 代 40 代の若い世代であった。

【対象期間】2021 年４月１日～2022 年３月３１日

【受付期間】2021 年４月１日～2022 年３月３１日

【応募総数】延べ参加者数　305 名

今年度参加者数：　132 名（内新規参加者：4 名）

延べ提出枚数　：　3954 枚

今年度提出枚数：　712 枚

今年度配布枚数：約 1290 枚

【後　　援】枚方市

(3) ごみ減量推進事業

①リユースコーナーの管理運営事業

3 年目となったリユースコーナーは、コロナ禍でも順調に運営されている。この取り組みは目に見えてわかりやすく、来訪者から「いいことされていますね」という言葉をいただくことも多い。

【対象期間】2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日

【登録者数】228 名（新規 60 名）

【利用者数】今年度 303 名（累計　864 名）

【利用点数】今年度 2060 点（累計　4399 点）

②プラごみダイエット推進事業

「プラごみダイエット生活第２弾　みんなどうしてるの？お願い教えて　体験談＆実例募集」を行った。大人から子どもまで 55 名から応募があった。応募実例には、イラストや絵などを描かれたものも多く、また、「海を汚さないで」といった強いメッセージもあった。プラごみを削減したいという参加者の想いが伝わってきた。応募いただいた意見は、１枚のパネルにし、情報コーナーに掲示している。

【期間】2021 年　7 月 1 日～9 月 30 日
【応募用紙配布箇所】
　会員・情報コーナー来訪者・イベント参加者・ 市内小学校・中学校、幼稚園
【応募用紙総配布数】25,000 部　 配布協力学校園　54/71 校園
【応募者数】　　応募総数 55 名（子供 30 名　大人 25 名）

(4)エコ行動宣言事業

取組みは 4 年目となった。2020 年のレジ袋の有料化やコロナ感染拡大といった社会的背景がエコ行動にもその影響が表れているように読み取れた。この取り組みは、子どもの参加、家族みんなで参加できることが特長であり、家族で１年に一度自分の行動を振り返ることによる意識継続効果はあると実感している。

【対象期間】2021 年 6 月～2021 年 12 月 31 日
【受付期間】2021 年 7 月～2021 年 12 月 31 日
【応募総数】223 名　（応募用紙　配布数：25, 000 部）
【共　　催】枚方市
【後　　援】枚方市教育委員会
【協　　力】枚方市地球温暖化対策協議会

2　環境講座開催事業

今年度も環境活動に取り組む市民の輪を広げるため、下記 4 講座を実施した。

【予　　算】59,000 円（収入実績：1,100 円）
【支　　出】53,653 円

(1)自然エネルギー学校 2021 の開講事業

2021 年 10 月 22 日に第 6 次エネルギー基本計画が閣議決定されたことを受け、自然エネルギー学校で講演会を開催した。また、毎年開催している小水力発電のデモンストレーションもこもれび水路で開催。あいにく水路の循環システムの故障により水は流れていなかったが、一般の通行の方に手で軽く回すだけで発電する様子を見てもらうと共にリーフレット「小水力の可能性を考えよう」を配ることで、ピコ水力を PR することができた。

第１回【開催日時】　11 月 11 日　（木）　10：30～12：00
　　【テーマ】　「小水力発電　デモンストレーション見学会」
　　【場　所】　枚方市香里ケ丘　こもれび水路（CONOBA 前）
　　【参加者】　8 名　＋　通行人
　　【対象者】　市民
第２回【開催日時】　12 月 10 日　（水）　13：30～15：00
　　【テーマ】　「第６次エネルギー基本計画について」
　　【講　師】　NPO 法人地球環境市民会議　（CASA）　専務理事　早川　光俊　氏
　　【場　所】　サプリ村野　環境保全研修室　と ZOOM によるオンラインでの両開催
　　【参加者】　会場　13 名　　ZOOM　6 名　　計 19 名
　　【対象者】　市民

(2)環境教育担い手育成講座「くらわんか塾」開講事業

環境教育に取り組んでいただける方が増える事を目的に、環境教育のボランティアを育成する「くらわんか塾」を開催した。当初9月3日（土)に予定していた「環境施設見学会」はコロナ感染防止の緊急事態宣言の延長に伴い中止となったが、9月11日（土）に予定していた「環境教育ボランティア基礎講座」は10月23日（土）に延期し開催した。

午前の部では、「ひらかた環境ネットワーク会議」の活動紹介、および枚方市環境政策室による「枚方市第三次環境基本計画」の説明と環境啓発活動の具体的な紹介、環境教育部会による「環境問題の現状と実態」をテーマとした講座を行った。

午後の部では、「子供たちの未来のために出来ること」をテーマに、SDGｓの環境問題の中から選んでグループ討議を行った。続いて、環境教育部会から、環境出前授業の取り組みの実績と事例を紹介した。特に45分という限られた時間の中で、環境問題のテーマをどのように伝えていくか、又伝えるためにどのような実験や体験がいいのかといった苦労話、そして実際の活動風景を映像で紹介し、子供たちの喜ぶ姿を実感してもらった。

最後のまとめとして、どのようにすれば環境問題が解決できるかを議論する中で、レジ袋の有料化で消費者の意識が変わったことを事例として、法律で規制していくことも効果はあるが、本来は一人一人が環境問題を自分事として認識し、賢い消費者として行動に移すことが大切であるとの認識で一致した。

【内　容】

○環境施設見学会(ソラパ、ZEH、かざぐるまを見学予定)・・・中止

9月3日(金)　9：00　～12：30　　（＊参考：応募者16名）

○環境基礎講座・・・延期実施

10月23日（土）10：00～15：00　　サプリ村野環境保全研修室

受講者14名（一般受講者1名）

【対 象 者】市民

(3)環境活動スターター講座の開講事業

環境への関心を持ってもらうきっかけとするためのミニ講座、環境の身近でホットな話題を少し掘り下げておしゃべりしようというスタイルの環境ティールームをそれぞれ、月一回のペースで開講した。

コロナ禍のため、少人数での開催となった。

【対 象 者】市民・事業者

【実施内容・参加者数】

＜環境ミニ講座＞　全7回実施　93名参加

実施日時	実施内容	参加者数
6月27日（木）13：30～15：00	ハギレと小枝で作るグリーンオブジェ	4
8月　7日（土）10：30～12：00	天の川で遊ぼう	36
8月22日（木）13：30～15：00	わらび餅作り	11
9月30日（木）13：30～15：00	天の川ウォーク	中止
10月28日（木）13：30～15：00	かぼちゃDEスイーツ	5

11 月 28 日（木）13：30～15：00	クリスマスガーランド作り	8
1 月 22 日（土）13：30～15：00	昔遊びを体験しよう	13
3 月 24 日（木）13：30～15：30	天の川ウォーク	16
合　　計		93

＜環境ティールーム＞　全 7 回実施　　29 名参加

実施日時	実施内容	参加者数
6 月 10 日（木）10：30～12：00	「自然のエネルギーを暮らしの中に」	3
7 月 8 日（木）10：30～12：00	「エシカルって何？」	4
9 月 9 日（木）10：30～12：00	「小水力発電の可能性を考える」	中止
10 月 14 日（木）10：30～12：00	「マイタイムラインを作ってみよう」	5
11 月 11 日（木）10：30～12：00	「小水力発電　デモンストレーション見学会」	8
12 月 9 日（木）10：30～12：00	「地球温暖化が進むとどうなるか？」PART1 食べ物編	3
2 月 17 日（木）10：30～12：00	「地球温暖化が進むとどうなるか？」PART2 住まい編	3
3 月 10 日（木）10：30～12：00	「地球温暖化が進むとどうなるか？」PART3 健康編	3
合　　計		29

3　中間支援事業

環境関連団体を支援することにより、環境活動の輪を拡げ、環境施策推進へとつなげることを目的として下記の事業を行った。

【予　　算】 37,000 円（収入実績：事業収入 33,000 円）

【支　　出】 35,144 円

(1)環境団体活動交流会開催事業

コロナ禍のため、積極的な交流はできなかったが、サプリにて随時相談業務などを行い、他団体・事業者との交流を行った。

(2)環境団体活動支援事業

① エコキャップ等回収支援事業

【事業期間】2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日

【実施場所】サプリ村野環境情報コーナー　および　市内学校・施設など

【対　　象】市内全域

≪エコキャップ≫

【回収総数】個数　227,900 個　（取り組み開始からの累計 3,429,574 個）

重量　530ｋｇ（取り組み開始からの累計約 8.3t）

【CO_2削減量】1.7ｔ（取り組み開始からの累計 26.4t）

【回収場所】事務所、および取り組み団体・事業所・学校等

【運搬回数】処理業者への運搬 2 回（軽トラック）（11/5、3/7）

【支援団体・事業所】

樟葉西中学校、なぎさ西中学校、招堤中学校、桜丘中学校、西牧野小学校、山田東小学校、枚方高校、など

② 他団体活動支援事業

昨年相談を受けた枚方高校の生徒会の取り組みについて、今年取り組み実施の報告を受けた。また、樟葉西中学校の「KUZUNISHI SDGs SUMMIT 2021」に環境分野のゲストとして招かれ当団体の取り組みと SDGs について話をした。

その他、一般財団法人環境事業協会や各種団体・個人からの相談業務、部屋の貸出業務をおこなった。また、枚方市民菊人形の会のカレンダーや菊花展のポスターなど印刷物の製作をはじめ、琵琶湖淀川流域圏連携交流会の HP 管理・チラシ作成・事務局業務を行った。

【対 象 者】会員・その他の環境団体

【支援団体・事業所】

琵琶湖・淀川流域圏連携交流会、NPO 法人森林ボランティア竹取物語の会、枚方市子育て支援室、ひらかた市民菊人形の会、枚方市菊花展実行委員会、里親支援機関おひさま、一般財団法人環境事業協会、他企業

4　ひらかたエコフォーラム開催事業

今年度は、会場をサプリ村野にして開催した。北館１階に４ブース、南館２階でリユースコーナーと表彰式会場を設けた。しかし、直前にコロナの感染が拡大し、急遽ブースは中止し、表彰式・認定式のみの縮小開催となった。

【開催日時】令和４年２月５日(土)10:00～12:00

【会　　場】サプリ村野

【来場者数】約 81 人

【共　　催】枚方市、枚方市教育委員会

【対 象 者】市民、事業者、行政

【出展予定だった団体】天の川を清流にする会、関西リサイクルシステムズ株式会社、
NPO 法人森林ボランティア竹取物語の会、NPO 法人ひらかた環境ネットワーク会議、

【予　　算】230,000 円

【支　　出】209,729 円

5　環境情報コーナーの運営等業務委託事業

本年度も契約書記載の業務内容を滞りなく行った。

【予　　算】240,000 円（収入実績：委託料 240,000 円　但し人件費は除く）

【支　　出】303,735 円

(1)環境情報コーナーの管理運営事業

今年もコロナの影響で来場者は少なかったが、各種取組の受付業務、緑のカーテン業務はほぼ通常通り行うことができた。また、リユースコーナーのリニューアルをし、廊下からも見えるような配置にしたり、ドアに情報コーナーの案内を設置し通りがかった方に来ていただけるよう工夫した。また、室内には、関係団体のパネルや温暖化の取り組みパネルを製作展示、また、ホワイトボードに自転車発電パネルを作成するなど、来場者への啓発に努めた。

【事業期間】2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日

【実施場所】サプリ村野南館２Ｆ　環境情報コーナー　環境保全研修室

【対 象 者】市民、活動団体、事業者

【環境情報コーナー各種利用状況】

	延べ利用数
環境情報コーナー	大人 1367 人　子ども　310 人　計 1677 人
環境保全研修室	133 回　1267 人
エコドライブシュミレーター	22 回
エコナビ貸出	8 台貸し出し中

(2)緑のカーテン事業・ゴーヤの苗配布事業

毎年実施している　枚方市の「緑のカーテンモニター」の苗の配布および報告書回収業務を今年度も請け負った。今年の参加者は、155 名。苗を各４株配布し、8 月にその報告書の回収業務を行った。併せて、「マイゴーヤづくり」をサプリ村野で実施し、緑のカーテン作りを体験する機会を設け、普及に努めると共に、環境情報コーナーの周知及び環境に関心を持ってもらう機会とした。「マイゴーヤづくり」では２週間に一度のお世話活動でを通して、参加者同士の交流が深まり、10 月にはオプション企画として干し柿づくり体験を行い、先人に学ぶエコな暮らしを知ってもらう機会にもなった。

【事業期間】2020 年 5 月～2020 年 10 月

【実施場所】サプリ村野南館２Ｆ　環境情報コーナー　環境保全研修室

【対 象 者】市民

・緑のカーテンモニター　　参加者 162 名、　報告書提出枚数　95 枚

・MY ゴーヤ登録者　　16　名　　活動回数：　13 回

6　総会及び会員交流会等開催事業

通常総会開催時期は、コロナ禍であったため、委任状や議決権行使書による出席をお願いし、少人数で開催した。交流会は開催しなかった。

≪通常総会≫

【開 催 日】令和 3 年 6 月 5 日（土）

【場　　所】サプリ村野南館 2 階 環境保全研修室

【内　　容】令和 3 年度通常総会　10：30～11：12

出席者数：63 名/正会員数：85 名（本人 8 名、委任状 33 名、議決権行使書 22 名）

議　　題：第 1 号議案　役員選任に関する件

第 2 号議案　2020 年度事業報告書案承認の件

第 3 号議案　2020 年度活動決算書案承認の件

第 4 号議案　2021 年度事業計画書案承認の件

第 5 号議案　2021 年度活動予算書案承認の件

【対 象 者】会員

【予　　算】30,000 円

【支　　出】26,541 円

7　広報事業

(1)会報誌「環境ひらかた」発行事業

秋号は、コロナの影響で発行が１か月遅れ 11 月の発行となったが、年 4 回発行できた。この会報誌は、当団体の取り組みや活動、環境の課題等をわかりやすく発信するため毎号工夫を凝らして作成している。会員や会員以外の関係団体・事業者にも配布するとともに、生涯学習市民センター・図書館等公共施設にも設置し、一般市民の方にも読んでいただけるようにしている。

【発行部数】　3,400 部（A4 版 8 ページ、全面カラー刷り）

№69 春号　2021 年４月 1 日発行　900 部配布

№70 夏号　2021 年７月 1 日発行　700 部配布

№71 秋号　2021 年 11 月 1 日発行　800 部配布

№72 冬号　2022 年 1 月 1 日発行　900 部配布

【対 象 者】市民、事業者

【予　　算】220,000 円

【支　　出】256,058 円

(2)HP の管理運営事業

講座のお知らせや活動報告を中心に日々更新を行っている。

今年 10 月には月間閲覧数が過去最高 4,754 件あった。

【アクセス数】18,212 件　（昨年 17,883 件）

【対 象 者】会員、市民、事業者

【予　　算】 10,000 円

【支　　出】　7,784 円

(3)その他の広報活動

広報ひらかたへの掲載は行ったが、コロナ禍であったため NPO フェスタも中止となり、他団体イベントへの出展もできなかった。

≪情報紙・ＷＥＢ掲載≫

情報誌：枚方市広報・枚方子育て通信 Haru、

WEB(インターネット上の情報サイト)掲載：枚方市公式 FB

≪テレビ・ラジオ出演等≫

＜ＦＭひらかた取材＞　環境ミニ講座（天の川で遊ぼう）、バスのってスタンプラリー

≪街宣・他団体主催によるイベント参加≫

なし

8. 自然エネルギー発電啓発促進事業

(1)自然エネルギー発電及啓発事業

自然エネルギー学校において自然エネルギーの普及啓発に努めた。(2-（１）参照)

また、大阪府が行っている公民連携による「太陽光発電設備設置による地域環境活動推進事業」において、環境ネットワーク会議が協定先に採択され「うぐいすの里」に設置された太陽光発電設備は順調に稼働している。当団体は、それを活用し啓発活動を行う予定であったが、コロナ禍で人を集めて

の見学会などは実施できなかったため、啓発リーフレットを作成し、配布した。

(2)こもれび水路プロジェクト

11 月の自然エネルギー学校を「こもれび水路」にて小水力発電器を設置して開催した。

(2-（１）参照)

【予　　算】35,000 円（収入実績：円）

【支　　出】0 円

9　モビリティ･マネジメント事業

“モビリティ”すなわち、“移動”の状況（移動手段等）が、個人にも社会にも望ましい方向に向くよう（環境に負荷をかけないなど)、そしてそれが自発的・主体的に行われることをめざし、それらを促す取り組みとして下記の事業を行った。

【予　　算】 1,050,000 円（収入実績：事業収入 1,220,840 円）

【支　　出】 1,100,337 円

(1)「ひらかた交通タウンマップ」作製配布事業

公共交通情報を伝える事で、公共交通の利用促進を図り、車社会がもたらす環境負荷を少しでも減らすことを目的に、今年も転入者向けに「ひらかた交通タウンマップ」を配布した。このマップの裏面には、電車やバスのお得で便利な利用方法をわかりやすく解説しており、転入者に限らず広く市民に役立つものとなっている。そのため、転入者以外にもマップを希望する人も多く、要望に応え図書館や環境情報コーナーにも設置し、希望者には随時無料で渡した。また、枚方市駅構内にも随時配架してもらえた。

【対 象 者】市民

【内　　容】マップの更新 2 回 13,000 部(12 月：4,000 部発行、3 月：9,000 部発行)

転入者向け啓発チラシ 10,000 部発行(A1 判 A4 仕上げ カラー両面刷り)

(2) 公共交通利用促進事業

①　「第 31 回バス！のってスタンプラリー　くらわんか茶碗をさがせ！」の実施

市内の名所や歴史文化史跡などを巡るイベント「バス！のってスタンプラリー」を、三密を避けるために 1 日イベントではなく長期で参加できるように開催し、公共交通の利便性と枚方のまちの楽しさを体験してもらった。

【対 象 者】市民

【開催日時】令和 3 年 10 月 1 日～令和 4 年 1 月 10 日

【参加者数】４１７人

【応募者数】４０５人

【協　　賛】京阪電気鉄道　枚方文化観光協会　ブールミッシュ　Mizkan　果楽

茶通仙 多田製茶　Panasonic

②「ひらかた交通すごろく」の活用

平成 28 年度開発した「ひらかた交通すごろく」を活用した啓発の取り組みをする予定であったがコロナ禍によりできなかった。

③交通タウンマップの普及促進の取り組み

八幡市への働きかけを行った。

10　まちづくり推進事業

下記の２事業を開催予定であったが、ほとんど活動できなかった。

【予　　算】 10,000 円（収入実績：円）

【支　　出】 0 円

(1)　美しいまちづくり推進事業

・五六市会場周辺美化活動　　中止

・天の川クリーンウォーク　　中止

(2)　歴史文化遺産の保存と活用事業

ウォーキングやフォトイベントも実施できなかった。

11　環境教育推進事業

環境意識の醸成は子供のころからの環境教育が重要との思いで、今年も下記出前授業及び出前授業の用に供するためのツールづくりに取り組んだ。

【予　　算】 270,000 円（収入実績：事業収入 54,635 円）

【支　　出】 145,848 円

(1)　環境教育の出前授業の実施事業

今年度は4月初め枚方市内全小中学校の校長宛に「環境出前授業紹介チラシ」と「環境出前授業プログラム冊子」を送付したところ、過去に実施していない学校からの問合せが4月末から5月にかけて数件あり、後日3校での実施(4年生対象)が決定した。具体的な「資料」を添付した効果であったのかと思われる。さらに6月中旬から7月初めにかけて、緊急事態宣言が明けたこともあり 10 数校を訪問し、校長、教頭への働きかけを行った。その一方で、今年度の事業計画にあげた「環境出前授業を受講してもらった担当教員」や「学級担任」への働きかけについては 10 月からスタートさせ、4 校では4年生担任に、3 校では 5 年生の担任あるいは担任外に働きかけを行ったところ、前者は実施が決定したが、後者は実施には至らなかった。

尚今年度も昨年度に引続き、「環境出前授業」を「安全」に実施していることの具体的根拠として、講師とスタッフの感染対策エビデンスシートをその都度提出する事にした。

【実 施 校 等】 8校 （蹉跎西小、樟葉北小、伊加賀小、桜丘小、山田東小、東香里小、香陽小、明倫小）

※今回、各種団体、イベント等は無し

【実施　件数　】 15 件（1件の中止分を含む）

【派遣　人員　】 延べ 91 名（昨年度延べ 50 名、一昨年度延べ 88 名、それ以前137名、165名）

【対　象　者　】 市内小中学校の児童・生徒、各種団体

【実施テーマ　】 環境問題と電気エネルギーについて学ぼう(屋外版) 4件(1件)、

環境問題と電気エネルギーについて学ぼう(屋内版) 4件(2件)、

地球温暖化について考えよう 2件（0件）、

酸性雨の実験で大気汚染について考えよう 0件(1件)、

ペットボトルから使い捨て問題を考えよう 3件（1件）、

4Rについて学びごみ減量を考えよう 1件（1件）、

間伐材を使って里山保全を考えよう1件（1件）、
地球温暖化と環境問題（関電） 0件（0件）
※かっこ内は前年度実施件数
※雨天によるテーマ変更は依頼のテーマで計上

(2) 環境啓発・環境教育ツール作成事業

子どもたちの理解を深めるため、電子黒板、TV等の端末機器の活用が図れるよう整備した。また使用頻度の高い「手廻し発電機」や「電気エネルギー変換パネルのオルゴール」などの教材の整備及び補充を行なった。併せて、「環境出前授業」実施時の搬出漏れをなくすため、各テーマ毎の必要機材を一括保管できるよう様にした。

12. 人材育成事業

【予　　算】 10,000 円（収入実績：0 円）
【支　　出】　 708 円

(1) インターンシップ受け入れ事業

今年度も夏休み、春休みそれぞれ 10 日間程度　大学生のインターンシップを受け入れた。最初に「NPO 法人とは」「環境問題とは」を学んでもらった。次に、様々ある環境問題から、自分たちの関心があること、或は取り上げてみたい問題をインターン生全員で話し合って決め、その問題について調べ、話し合い、掘り下げていくという事を重ね、環境啓発に関する企画書づくりに挑戦してもらった。その他、講座や会議に参加し、会議運営について学んだり、講座で実際に市民と話をする機会も設けた。これらの体験を通し環境への関心を高め、それを拡げていく方法を学んでもらった。

只、夏休みのインターンシップは、後半で事務局のコロナ感染があり、ドットジェーピーについては 2 日、関西外語については 1 日を残して中止となってしまった。しかし、最終日にディベート大会をすることはできた。

【対　象】大学生
【期　間】８月～９月、２月～３月　それぞれ約 10 日
【受入数】夏休み期間　ドットジェーピーより 3 名、関西外国語大学より 3 名の大学生、
龍谷大学より２名（コロナにより辞退された）
春休み期間　ドットジェーピーより 4 名、

(2)　インターンシップ生フォローアップ事業

・他団体のインターン生相談業務対応
・ドットジェーピー主催「未来地方自治」への参加
・夏のミニ講座「天の川で遊ぼう」にスタッフ会員１名が参加協力

13 その他

① 会員数

今年度は、新規入会が 12 名で、退会が 6 名、期首より 6 名増加した。

＜2022 年 3 月 31 日　現在　会員数＞

	正会員	賛助会員	計
個人	65	52	117
非営利団体	17	1	18
営利団体	2	0	2
	84	53	137

②令和 3 年度理事会の開催

◎第 1 回理事会

日　　時：2021 年 5 月 14 日(金)　10:30～11：31

場　　所：サプリ村野　環境保全研修室

理事総数：14 人

出席者数：13 名（本人出席 7 名、委任状出席 2 名、議決権行使書 4 名）

議　　題：第 1 号議案　運営委員任命の件

第 2 号議案　2020 年度事業報告書(案)承認の件

第 3 号議案　2020 年度活動決算書(案)承認の件

第 4 号議案　2021 年度事業計画書(案)承認の件

第 5 号議案　2021 年度活動予算書(案)承認の件

◎第 2 回理事会

日　　時：2021 年 11 月 8 日(月)　10：35～11：25

場　　所：サプリ村野　環境保全研修室

理事総数：14　名

出席者数：12 名（本人出席 11 名、委任状出席 1 名、議決権行使書出席 2 名）

議　　題：第 1 号議案　運営委員任命の件

報告事項　中間事業報告・上期予算執行状況

③運営委員会の開催

回	日　程	時　間	場　所
第　1 回	2021 年　4 月 19 日（月）	14：00～16:00	環境保全研修室
第　2 回	2021 年　6 月 18 日（金）	14：00～16:00	環境保全研修室
第　3 回	2021 年　8 月 20 日（金）	14：00～15:30	環境保全研修室
第　4 回	2021 年　9 月 27 日（月）	14：00～15:45	環境保全研修室
第　5 回	2021 年 10 月 26 日（月）	14：00～16:00	環境保全研修室
第　6 回	2021 年 11 月 16 日（月）	14：00～16:00	環境保全研修室
第　7 回	2021 年 12 月 21 日（火）	14：00～16:00	環境保全研修室
第　8 回	2022 年　1 月 17 日（月）	14：00～16:00	環境保全研修室
第　9 回	2022 年　2 月 15 日（火）	14：00～16:00	環境保全研修室
第 10 回	2022 年　3 月 15 日（火）	14：00～16:00	環境保全研修室

④枚方市地球温暖化対策事業推進チーム会議の開催

回	日　程	時　間	場　所
第　1 回	2021 年　4 月 12 日（月）	10：00～11:40	環境保全研修室
第　2 回	2021 年　5 月 17 日（月）	10：00～11:40	環境保全研修室
第　3 回	2021 年　6 月 11 日（金）	10：00～11:40	環境保全研修室
第　4 回	2021 年　7 月 12 日（月）	10：00～11:40	環境保全研修室
第　5 回	2021 年　8 月 23 日（月）	10：00～11:30	環境保全研修室
第　6 回	2021 年　9 月 29 日（水）	10：00～11:30	環境保全研修室
第　7 回	2021 年 10 月 18 日（月）	10：00～11:30	環境保全研修室
第　8 回	2021 年 11 月 16 日（月）	10：00～11:20	環境保全研修室
第　9 回	2021 年 12 月 13 日（月）	10：00～11:40	環境保全研修室
第 10 回	2022 年　1 月 17 日（月）	10：00～11:40	環境保全研修室
第 11 回	2022 年　2 月 14 日（月）	10：00～11:40	環境保全研修室
第 12 回	2022 年　3 月 15 日（火）	10：00～11:40	環境保全研修室

⑤その他参加したミーティング

◎おおさかスマートエネルギー協議会・家庭部門会議

◎琵琶湖淀川流域圏連携交流会 幹事会

◎枚方市食育推進ネットワーク会議

◎NPO フェスタ実行委員会

⑥団体・審議会等への派遣

◎枚方市環境審議会

期　間：2021 年 4 月～2022 年 3 月　　派　遣：委員として 1 名

◎枚方市地域産業基盤強化奨励事業選定審査会

期　間：2021 年 4 月～2022 年 3 月　　派　遣：委員として 1 名

◎枚方なぎさ高等学校学校協議会

期　間：2021 年４月～2022 年 3 月　　派　遣：委員として 1 名

【２】. 収益事業　　該当なし